

胃瘻造設術を受けられる患者さんへ

患者氏名 @PATIENTNAME

主治医

主治医以外の担当者

経過 日時	外来受診～入院前 月 日 ( )	入院中	退院後 退院日 月 日 ( )
患者目標	治療方針について理解出来る。 入院の準備ができる。	合併症が無い。	胃瘻トラブル無く過ごせる。
検査	採血 胸部レントゲン 心電図 呼吸機能(可能であれば行います。) 麻酔科外来受診( 月 日)	採血を行います。胸腹部のレントゲンを撮ります。 	
内服薬	服薬中の薬はすべてお持ち下さい。いつも飲んでいる薬を中止していただく場合があります。中止薬は医師の指示に従ってください。抗凝固剤の内服は中止です。	病院主治医より指示があります。 抗痙攣剤については手術当日の朝迄内服可能です。 手術当日夜から内服を再開します。	退院時報告書をご参照ください。
食事 (栄養剤注入)	自由に可能です。 普段通り注入して下さい。	手術前日夜以降絶飲食です。	手術後2日目より水分・3日目より栄養剤の注入が可能です。詳しくは退院時報告書をご参照ください。
点滴		術後より24時間持続点滴です。 抗生剤を1日投与します。	
入浴	普段通りに可能です。 可能な方は入浴・シャワー浴などで、手術部位を清潔に洗浄して来て下さい。	身体を看護師が拭きます。 	手術前からシャワーや入浴をしていた方は通常7日目頃からシャワー浴、14日目頃から入浴が可能です。
処置		腹部膨満が強い場合は浣腸をします。 手術後と退院前にガーゼの汚染が無いか確認と傷の消毒をします。	術後3日目以降は原則消毒は不要です。 胃瘻周囲が汚染している場合は、濡れたガーゼで優しく拭いた後乾燥させて下さい。
排便	便秘の方は下剤の使用や浣腸を考慮し、排便を確認して来て下さい。	必要時投薬で対処します。	便秘時は下剤・浣腸で対処して下さい。 下痢時は先ず栄養剤注入速度を遅くして下さい。 改善が無ければ医師に相談して下さい。
その他(リハビリテーション等の計画)	入院・手術に必要な物品の準備をお願いします。 (腹帯1枚・バスタオル1枚・タオル数枚・紙オムツ入院中使用分・入院誓約書) ご不明な点は、兵庫医科大学病院外科外来 0798-45-6250迄お問い合わせください。		

注1) 診療内容等は現時点で考えられるもので、今後検査等を進めていくにしたがって変更する場合があります。その場合は再度説明いたします。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。

27002-01

推定される入院期間 3 日間

特別な栄養管理の必要性 有・無

手術内容及び日程

病名

入院目的

症状

説明医師署名

( )

診療科 小児外科 2010.3.24 作成

上記の通り説明を受けました。

年 月 日

親族又は代理人署名

患者本人署名

患者との続柄